

松風ブロック HC

【禁忌・禁止】

不正咬合やブラキシズム（クレンチング、グライディング、タッピング）の習癖を伴う症例への適応はしないこと。

※【形状・構造及び原理等】

【構成】

1) 成分

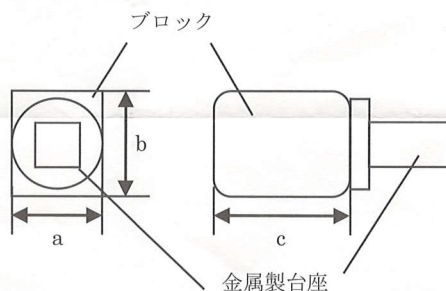
性状	成分
硬化物	UDMA、TEGDMA、シリカ粉末、微粒子 けい酸、ジルコニウムシリケート、 着色材、その他

※ 2) 色調：14色

W2-LT, A1-LT, A2-LT, A3-LT, A3.5-LT, B3-LT,
A1-HT, A2-HT, A3-HT, OC, 59, A2-2L, A3-2L, A3.5-2L

3) 形状

種類	寸法 (mm)		
	a	b	c
S	10	12	16
M	12	14	18



【原理】

本材は、加圧成型したコンポジットレジン製ブロックで、歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニットで切削加工する。

【使用目的又は効果】

歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニットとともに、歯科高分子製補綴物の作製に用いる。

【具体的用途】

前臼歯ジャケット冠、インレー、アンレー、ラミネートベニア、インプラント上部構造体等の歯冠修復物に用いる。

※【使用方法等】

【使用方法】

以下に具体例として、歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニットによる補綴物の作製について記載します。

1) スキャニング

スキャナによる支台歯模型の計測、もしくは光学印象採得装置による修復部位の光学撮影を行います。スキャナ及び光学印象採得装置の使用法については、附属の添付文書、取扱説明書に従うこと。

2) 加工用データの作成

スキャンデータを基に、ソフトウェア上で修復物のモデリングを行い、加工用データを作成します。

3) 加工

本材をミリングマシンに設置し、加工用データを用いて加工を行います。ミリングマシンの使用方法については、附属の添付文書、取扱説明書に従うこと。

4) 余剰部分の削除

加工完了後、余剰なレスト部分を削除します。

5) 形態修正

通法により研削材を用いて形態修正を行います。

※必要に応じて、高分子系歯冠用着色材料による着色、歯冠用硬質レジンによる追加築盛を行います。

6) 最終研磨

通法により艶出し研磨を行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 本材は、コンポジットレジン製 CAD/CAM 用被切削材料であるため、専用の切削器具を使用すること。
- 2) 合着、追加築盛、キャラクタライズを行う場合は、使用する製品の添付文書を確認し、歯科セラミックス用接着材料による表面処理を行うこと。
- 3) マージン部は 0.8mm 以上の厚みになるように、ディープシェンパー又はラウンドドショルダーで形成すること。
- 4) 窩洞外形は丸みをもたせ、対合歯と接触しない位置に設定すること。
- 5) 小窩裂溝部は 1.2mm 以上、咬頭部は小臼歯 1.2mm 以上、大臼歯 1.5mm 以上の厚みを確保するように形成すること。
- ※ 6) 口腔内への接着は、修復物の接着面に 0.2~0.3MPa の圧力で約 10 秒間のアルミナサンドブラスト処理後、充分に水洗・乾燥を行い、接着用レジンセメントにより行うこと。
※接着安定性のため、修復物、支台歯側に適切なプライマー処理を行うことを推奨する。尚、処理方法については、使用する接着用レジンセメント又はプライマーの添付文書に従うこと。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材への研磨作業の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。

【その他の注意】

完成して、患者に装着した修復物は、食習慣等にかかわって口腔内で表面着色したり、プラーク付着することがあるため、患者に対し口腔内の日常清掃を指導すること。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・本材は、高温多湿、直射日光を避けて保管すること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【有効期間】

本材の使用期限は包装に記載のとおりに。

【当社データによる】

※(例) YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

